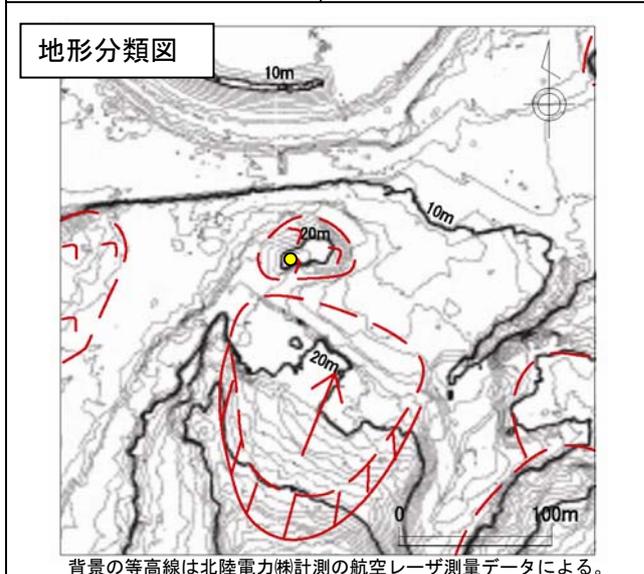


作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 17' 5"	東経 136° 44' 21"	Area B(1)

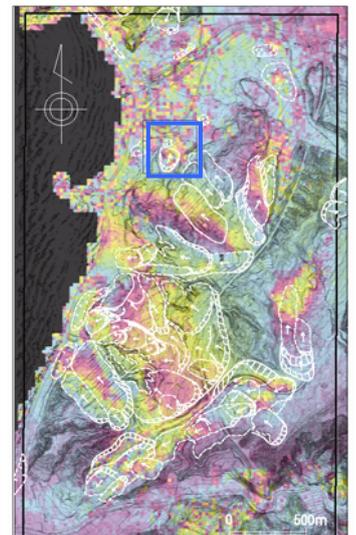
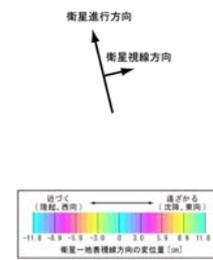
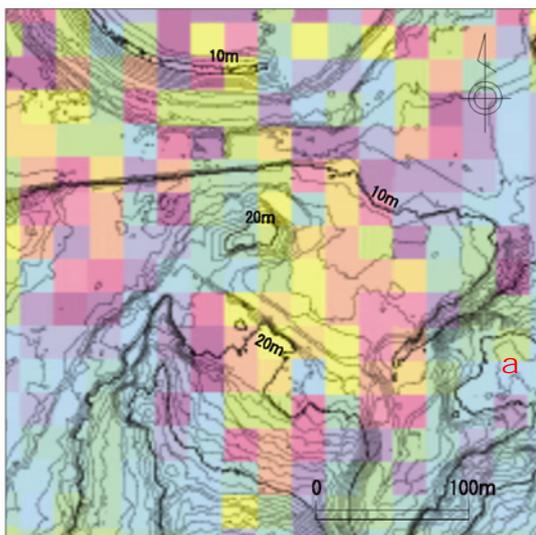


SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き



背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

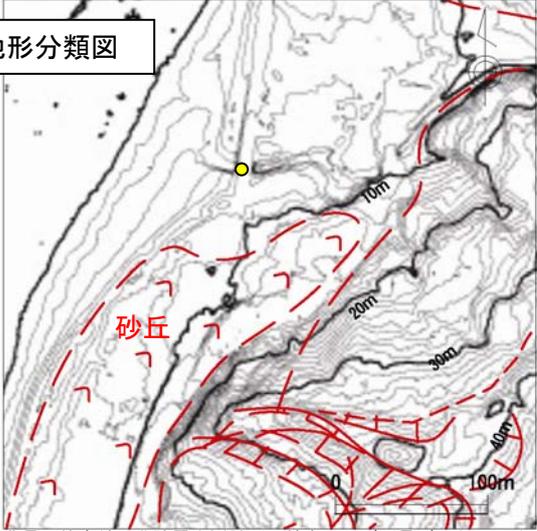
斜面（地すべり）

- ① 干渉縞：やや明瞭
- ② 視線方向の色変化：（対象地点より南東の広く無変化が広がる青色部分 a を基準に東から西に向かって）青→赤→黄色
- ③ 移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降

丘陵末端が凹状を呈し、その斜面下方に緩斜面が分布することから、地すべりである可能性が高い。干渉縞はこの地すべり地形と良く調和しているが、干渉縞の色変化が地すべり移動体の想定される移動方向と矛盾するので、谷頭部の宅地造成の盛土（現地未確認）の沈下か、使ったDEMが造成以前の地形を反映しているので、SAR干渉画像から地形の影響を正しく取り去っていない可能性がある。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 16' 33"	東経 136° 44' 0"	Area B(2)

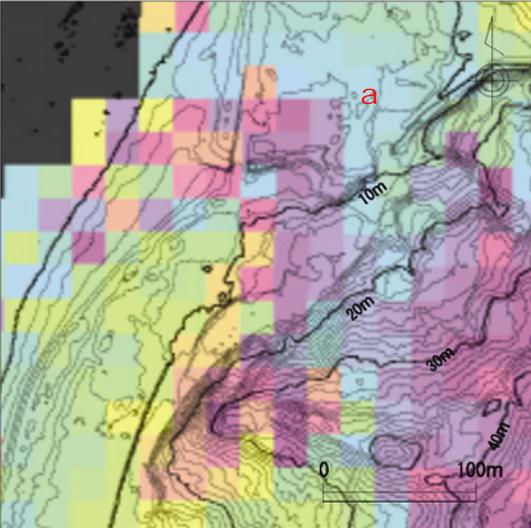
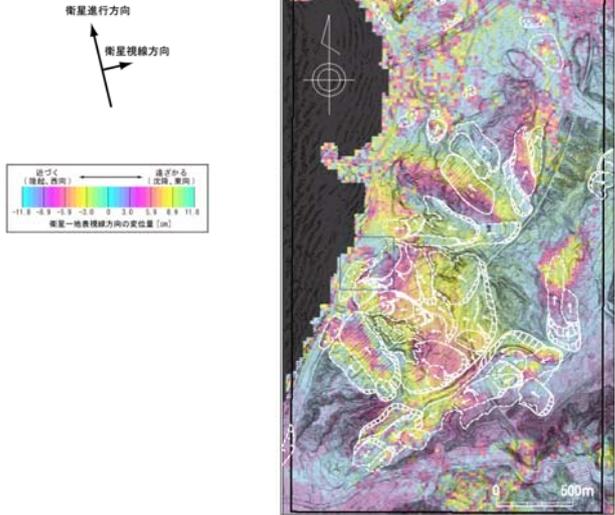
<p>地形分類図</p>  <p>背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	--

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：(FBS)/FBD (2007年2月23日) / (FBS)/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き

	 <p>衛星進行方向 衛星視線方向</p> <p>色づき (増高、西向き) ← → (減少、東向き) -11.8 -8.9 -5.9 -2.9 0 2.9 5.9 8.9 11.8 衛星-地表視線方向の変位量 [cm]</p>
---	---

背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

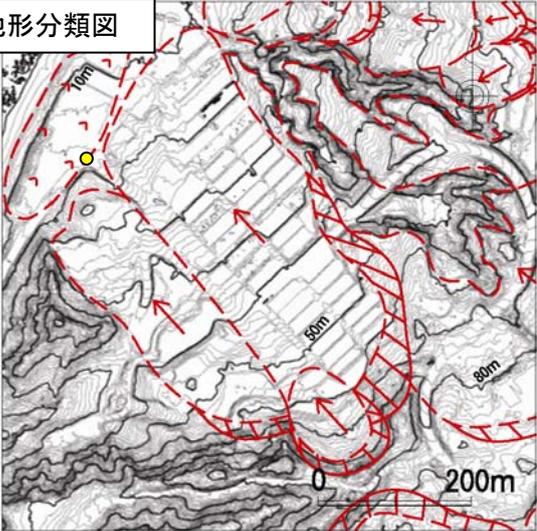
砂丘

- ① 干渉縞：やや明瞭
- ② 視線方向の色変化：(対象地点北東の青色部分 a を無変化と仮に考えて、東から西へ向かって) 青→赤→黄色
- ③ 移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降

この地点は震央に面し、地殻変動の影響で大きく隆起したことが判っているが、それとは干渉縞が逆の動き（沈降）を示している。本地点の平地部には砂丘が分布しており、強い地震動が加わったことにより、砂丘が液状化あるいは圧密により沈降したことを示していると思われる。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 16' 15"	東経 136° 43' 56"	Area B(3)

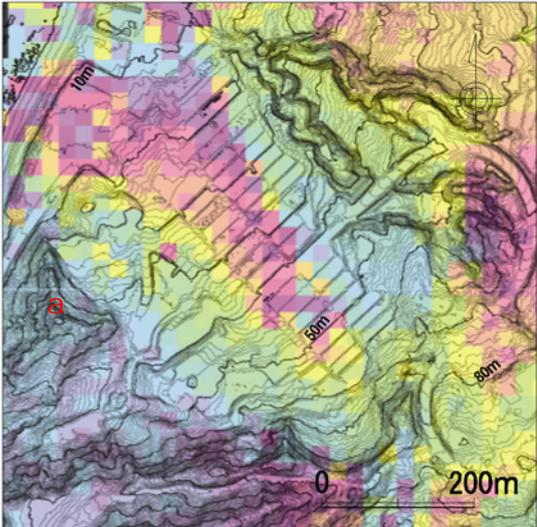
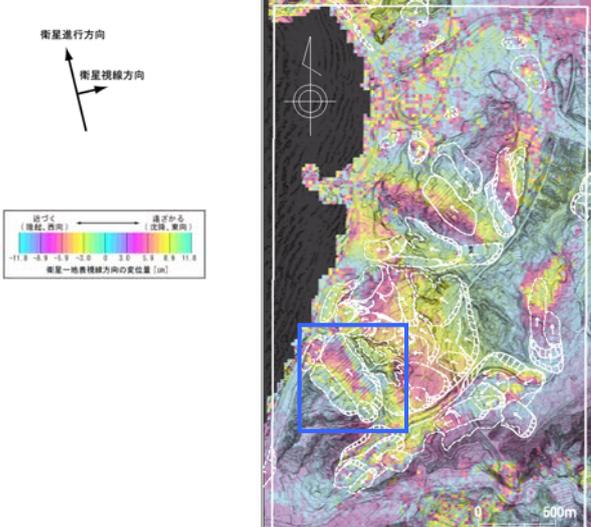
<p>地形分類図</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
---	--

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き

	 <p>衛星進行方向 衛星視線方向</p> <p>近づく (隆起, 西向き) 遠ざかる (沈没, 東向き)</p> <p>衛星-地形視線方向の変位量 [cm]</p>
---	--

背景の等高線は北陸電力株式会社測定の航空レーザ測量データによる。Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI

備考：

斜面（地すべり）

- ① 干渉縞：明瞭
- ② 視線方向の色変化：（干渉縞がやや明瞭な馬蹄形変動より外部の無変化の青色部分 a を基準に西から東に向かって）青→黄→赤色
- ③ 移動方向：西へ近づかないしは隆起

干渉縞は頭部滑落崖が明瞭な地すべり地内から斜面下方の砂丘にかけて検出されている。干渉縞は地すべり移動体と完全には一致せず、移動体内部の微高地に一致している。移動体の一部の広範囲の土砂部の微小な動きを検出したものと推定される。なお、干渉縞のパターンから、斜面下方の砂丘は海側へ移動したものと判断する。